

令和5年度 幼児期からの運動習慣形成プロジェクト
(幼児期からの運動遊び普及事業)

事業成果報告書

令和6年2月28日

奈良県

令和5年度 幼児期からの運動習慣形成プロジェクト
(幼児期からの運動遊び普及事業)

事業成果報告書

目次

1. 事業の趣旨・目的
2. 事業の実施体制
3. 事業の内容
4. 事業の成果
 - (1) 評価指標および目標
 - (2) 結果と考察
5. 事業の成果と今後の課題
6. 今後の取組予定

参考資料等

1. 事業の趣旨・目的

昨年度もスポーツ庁より当該事業の採択を受けて取り組んだ成果として、総合型地域スポーツクラブを実施主体とした運動に興味を持っている子どもに対するアプローチが実現でき、令和5年度も引き続き各クラブで事業展開がなされている。

今年度は、より幅広く様々な意識を持つ子どもに対する運動習慣を形成するきっかけづくりとするため、多くの子どもが通う教育・保育施設（幼稚園、保育所、認定こども園）を事業実施主体に据え、子どもの多様な動きの獲得、体力向上や、後年のスポーツ習慣化、健康の維持・増進につなげるため、県で策定した「幼児向け運動・スポーツプログラム」も活用しながら継続的な運動の大切や楽しさを気付かせる取組を行う。

また、保護者の行動変容に関しては、教育・保育施設における運動教室や情報共有の取組を通じて、子どもに運動をさせる意義や自身が運動をする楽しさに気付いてもらい、各人の行動変容につなげられるような取組を行う。

2. 事業の実施体制

【県関係】

1-1. スポーツ振興課

1-2. 奈良県スポーツ政策アドバイザー（専門家）

松下 直樹 （株）TPJ 代表取締役(元（株）アシックス顧問)

1-3. 奈良県スポーツ推進審議会（専門家組織）

朝原 宣治 オリンピアン（陸上）

伊藤 収宜 町村長会代表

加藤 真治 株式会社バンビシャス奈良代表取締役

亀田 忠彦 市長会代表

川手 健次 奈良県総合リハビリテーションセンター院長

阪口 保 奈良県議会議員 文教くらし委員長

田中 康仁 奈良県立医科大学 整形外科部長

千葉 すず オリンピアン（水泳）

蝶間林 利男 横浜国立大学名誉教授

中西 弘子 （株）ポーネルド代表取締役社長

根木 慎志 日本パラリンピアンズ協会副会長

原田 宗彦 大阪体育大学学長

福西 達男 NPO 法人ポルベニルカシハラスポーツクラブ理事長

星野 聡子 奈良女子大学学長補佐

松永 敬子 龍谷大学学長補佐・経営学部 教授

2-1. 奈良っ子はぐみ課（保育担当部署）

2-2. 就学前教育・保育アドバイザー（保育士資格有り）

2-3. 奈良県保育指導主事連絡協議会（関係者組織）

3. 教育振興課【私学担当】（教育担当部署）
4. 学ぶ力はぐくみ課【公立担当】（教育担当部署）

【市町村】

- ・事業に参画のあった教育・保育施設のある奈良市、天理市、橿原市、生駒市、三郷町の各スポーツ、保育、教育担当部署

【教育・保育施設】

- ・明治わらべこども園(奈良市)
- ・天理市立北保育所
- ・常盤幼稚園(橿原市)
- ・生駒市立なばた幼稚園
- ・生駒市立俵口幼稚園
- ・生駒市立中保育園
- ・生駒市立小平尾保育園
- ・希望ヶ丘保育園(三郷町)

【総合型地域スポーツクラブ】

- ・一般社団法人リトルパイン総合型地域スポーツクラブ

3. 事業の内容

<保護者向け普及・啓発の取組>

①教育・保育施設における保護者向け運動セミナーの実施

【内 容】

計画においては、保護者側への運動遊びに対する興味・関心の向上、家庭での取組促進を目指して、幼児向け運動・スポーツプログラム講師に依頼して、子どもの運動の必要性や運動を継続するメリット等を教育・保育施設へ訪問の上で保護者向けに講演し、それを念頭に、保護者と子どもが一緒になって実演形式で運動体験できる場を設定し、実体験として運動の有益性を再認識してもらう機会を創出する予定であった。

しかし、指導に赴く講師の調整を終え、事業採択後から年末までの間、希望施設の募集・個別声かけを色々と模索し続けたが、残念ながら参画を希望する施設が現れず、結果的に本運動セミナーの実施が困難となった。

なお、各施設が参画できなかった主な理由は、セミナーの性質上、保護者に施設へ来場してもらう必要がある取組であるため、施設ごとに年間計画が立った後では、施設から各保護者に新たな参集を依頼するタイミングが取れなかったためである。

また、時期的に秋口以降の開催とならざるを得なかったため、各施設としては通常行事(遠足、運動会等)が目白押しとなるタイミングでの新たな参集を依頼しにくかったことも影響した。

【事業目的への影響】

本計画にて想定していた保護者の意識変容に関する取組については、後述する教育・保

育施設における保護者向けの取組において補完及び代替ができるため(例：常盤幼稚園における保護者向けの運動体験会の実施等)、運動セミナー開催単独での効果検証はできないが、保護者の意識変容の検証という事業目的の達成そのものには影響しない。

<指導者向け普及・啓発の取組>

②教育・保育施設の指導者・市町村の関係部署職員等を対象とする講習会開催

【内 容】

幼児期からの運動遊びの効果や重要性、県が推進する就学前教育の内容や意義等について、県関係部署の職員や県内で活躍する幼児期の運動取組を行う講師による指導者向けの講習会を実施。

【日 時】

令和5年11月30日(木) 13時00分～15時30分

【場 所】

なら歴史芸術文化村 芸術文化体験棟ホール(奈良県天理市杣之内437-3)

【参 加 者】

県内教育・保育施設指導者等32名が受講

【講義での狙い】

- (座学) > 人生における幼児期からの運動遊びの重要性
- > 良い指導者としての観点
- > 保育の現場から見える子どもの実態
- (実技) > 「奈良県幼児向け運動・スポーツプログラム」を活用した具体的指導方法
- > コーディネーション能力と非認知能力の重要性
- (期待する効果) > 指導者に対する啓発とベースを共有した指導者の育成・確保

【プログラム】

| 時間 | 内容 |
|-----------------|--|
| 13:00 | 開会 |
| 13:05～ 13:20 | 講義 演題：「就学前児童のはぐくみ～その意義と奈良県の取組～」 講師：奈良県こども・女性局 奈良っ子はぐくみ課 木戸脇 泰三 氏 |
| 13:20～ 13:50 | 講義 演題：「すべての未来はあそびからはじまる」 講師：幼児向け運動・スポーツプログラム講師 西口 省三 氏 |
| 13:50～ 13:55 | 休憩 |
| 13:55～ 14:25 | 講義 演題：『さあ、遊ぼう！のびのび ぐんぐん いきいきと ～「わんぱくの森」から、元気発信！未来行～』 講師：奈良文化幼稚園長 角田 道代 氏 |
| 14:25～ 14:50 | 休憩・舞台転換 |
| 14:50～ 15:30 | 実技 「幼児期からの運動・スポーツ・遊びと効果的な指導方法」 (幼児向け運動・スポーツプログラム)等を活用した指導) 講師：幼児向け運動・スポーツプログラム講師 西口 省三 氏 |

<幼児を対象とした「運動遊び」の提供>

③運動の習慣化を目指した定期運動プログラムの実施

【内 容】

子どもの多様な動きの獲得、体力向上、健康の維持・増進等のため、定期的な運動環境を整える目的で、県内市町村にある教育・保育施設を対象として、身体を動かすことに対する継続性を確保した上で保護者への働きかけにも繋がる運動遊びの取組を委託実施。

子ども視点：身体を動かすことに繰り返し取り組むことで、これまでよりも上達できた経験、できなかったことができるようになったという成功体験を経験させることで、実感として運動を続ける楽しさや面白さを学んでもらう。

保護者視点：子どもの変化を親にも感じてもらい、運動継続の大切さや必要性に改めて気づいてもらう。

(必須取組)

①継続的な運動機会の創出

- 単発実施ではなく、契約期間内(10月～1月)に4回以上実施すること

②保護者の行動変容を促す仕組の実施

- 以下の2点から選択(両方選択も可)して実施すること
 - a. 子どもと一緒に保護者も運動に参加する機会を設ける仕組
 - b. 子どもの運動状況を保護者と共有する仕組を取り入れる仕組

【参加施設と選定について】

- 参加施設として、県内5市町・8教育・保育施設の参画を得た。

[公募(3施設)]

- ・明治わらべこども園(奈良市)
- ・常盤幼稚園(橿原市)
- ・希望ヶ丘保育園(三郷町)

⇒ 公募に応募があり、条件が適合している3施設。

[県指定(1施設)]

- ・天理市立北保育所

⇒ 公募に応募があったが、公立のため、天理市の予算流用の関係で実施が難しいことから、県が支払等の事務手続きを実施することとした1施設。

[総合型地域スポーツクラブで取りまとめ(4施設)]

- ・生駒市立なばた幼稚園
- ・生駒市立俵口幼稚園
- ・生駒市立中保育園
- ・生駒市立小平尾保育園

⇒ 公募に応募があったが、公立のため、生駒市の予算流用の関係で実施が難しいことから、総合型地域スポーツクラブを取りまとめ役にモデル実施する4施設。

【各施設での取組状況】

| 施設名 | 実施回数 | 延べ人数 (保護者含) | 保護者向け 取組 | 幼児向け 取組 |
|------------|------|----------------|-------------------|--|
| 明治わらべこども園 | 4回 | 89人 | ・親子教室 | ・体操 ・縄跳び ・ボール遊び |
| 天理市立北保育所 | 4回 | 179人 | ・親子教室 | ・ポートボール ・縄跳び ・マット |
| 常盤幼稚園 | 4回 | 342人 | ・親子教室 | ・テニスラケットを使った遊び |
| 生駒市立なばた幼稚園 | 4回 | 48人 | ・情報共有&お 家取組シート | ・体幹トレーニング ・バランスバイク ・マット&鉄棒 ・ボール運動 |
| 生駒市立俵口幼稚園 | 4回 | 240人 | ・情報共有&お 家取組シート | ・体幹トレーニング ・バランスバイク ・マット&鉄棒 ・ボール運動 |
| 生駒市立中保育園 | 4回 | 452人 | ・情報共有&お 家取組シート | ・体幹トレーニング ・バランスバイク ・マット&鉄棒 ・ボール運動 |
| 生駒市立小平尾保育園 | 4回 | 168人 | ・情報共有&お 家取組シート | ・体幹トレーニング ・バランスバイク ・マット&鉄棒 ・ボール運動 |
| 希望ヶ丘保育園 | 4回 | 104人 | ・情報共有&お 家取組シート | ・縄跳び |
| 合計 | 32回 | 1,622人 | — | — |

※ 生駒市立4施設については、総合型地域スポーツクラブの「一般社団法人リトルパイン総合型地域スポーツクラブ」が取りまとめて調整及び事業を実施。

4. 事業の成果

(1) 評価指標および目標

【共通項目】

| | 項目 | 目標値 | 成果値 |
|---|---|-----|---|
| ア | 「子供が活発に体を動かして遊ぶ機会が少ない」と答えていた保護者のうち、「子供が以前より活発に体を動かして遊ぶようになった」と回答する割合 <u>(Q. お子様は体を活発に動かす遊びをどのくらいしていますか)</u> | 80% | 取組前 24.8% 取組後 26.0% <u>(全くしない&少ししかしないの割合変化で検証)</u> |
| イ | 「子供の不活動時間(スクリーンタイム等)が減少した」又は「子供の不活動時間を減らすことを意識するようになった」と回答する割合 <u>(Q. テレビやパソコン、スマートフォン、ゲーム機等のスクリーンの平均視聴時間はどうか)</u> | 80% | 取組前：平日平均 2:00 休日平均 3:01 取組後：平日平均 1:57 休日平均 2:58 <u>(取組前後のスクリーンタイム増減で比較検証)</u> |
| ウ | 「子供の睡眠や食事などの生活習慣の改善を意識するようになった(又は既に意識している)」と回答する割合 <u>(Q. 同設問)</u> | 50% | 87% <u>(よく意識している&少し意識しているの合計値)</u> |
| エ | 「子供と一緒に体を動かして遊んだり、運動したりするようになった」と回答する割合 <u>(Q. お子様と家族の方が一緒に体を動かす遊びをしていますか)</u> | 80% | 64% <u>(毎日～週 2~3 回までの合計値)</u> |
| オ | 保護者自身の「不活動時間の減少を意識するようになった(又はフィジカルリテラシーが高まった)」と回答する割合 <u>(Q. 今後6ヶ月以内に定期的な運動をする予定か)</u> | 80% | 29.8% <u>(運動していないが6ヶ月以内に始める割合で検証)</u> |

【独自評価項目】

| | 項目 | 目標値 | 成果値 |
|---|--|-----|-------|
| ア | 運動が以前より楽しいと思えるようになったと答えた幼児の割合 <u>(Q. 同設問)</u> | 80% | 92.5% |
| イ | 体験した運動を今後も続けたいと答えた幼児の割合 <u>(Q. 同設問)</u> | 80% | 86.6% |

| | | | |
|---|---|-----|-------------------------------------|
| ウ | 開始時と比べて継続実施後に子どもの記録（回数等）が伸びた割合 | 80% | —% (施設ごとで内容等が異なり、比較できなかったため記録なし) |
| エ | 開始時と比べて継続実施後に子どもの運動意欲が高まったと感じる割合 (Q.同設問) | 80% | 95.4% (とても高まった&少し高まったの合計値) |

(2) 結果と考察

<保護者向け普及・啓発の取組>

①教育・保育施設における保護者向け運動セミナーの実施

【成果・感想】

- 「実技時間」を講習会に取り入れたことで、多くの指導者が感じる子どもの課題に資する指導方法を視覚的・具体的に普及することができた。
- 参加者全員が、今後、子どもの指導に県のプログラムを活用したいという意見だった。

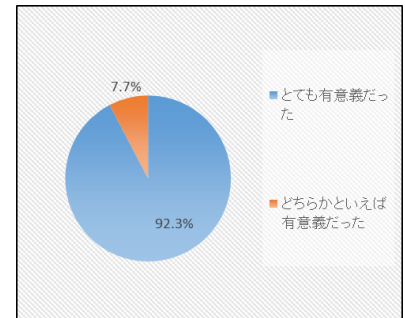
【アンケート結果（有効回答 26 名）】

Q. 今回の講演会は有意義だったか。

- とても有意義 92.3%，どちらかといえば有意義 7.7%

Q. 指導者が子どもに感じる課題は？（複数回答可）

- 体の操作が未熟な子どもが多い(24.0%)
- 色々な動きを経験していない(22.7%)



【当日の様子】

講習会(座学)の様子



講習会(実技)の様子



【アンケート結果＜保護者への効果＞】

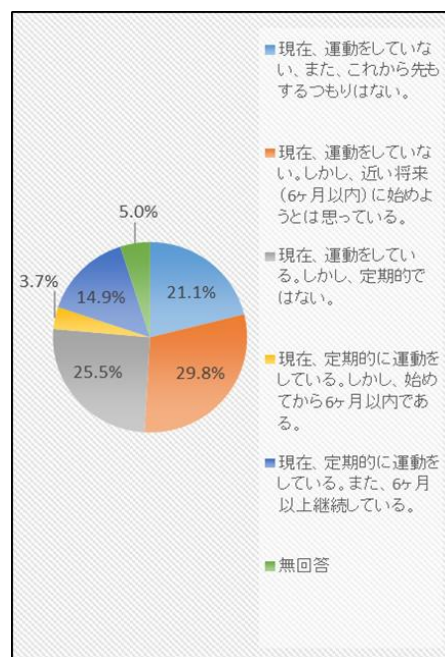
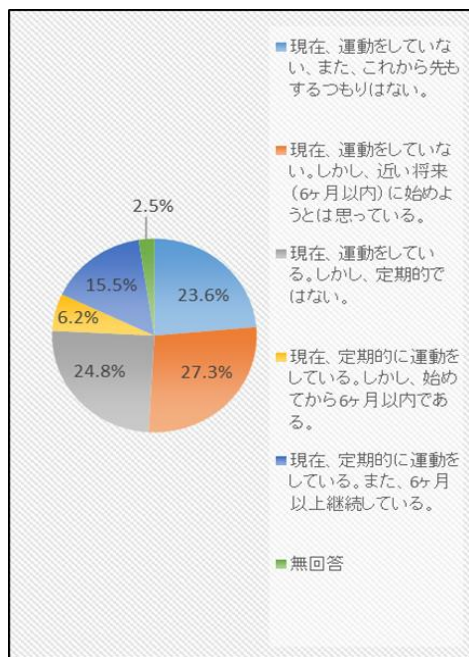
Q.定期的な運動をしようとする意欲について(保護者アンケート(161名))

①現在運動なし&今後もやらない割合

取組前：23.6% ⇒ 取組後：21.1%

②現在運動なし&近い将来(6ヶ月以内)に始める割合

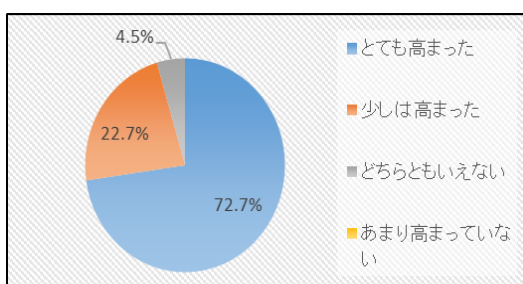
取組前：27.3% ⇒ 取組後：29.8%



※ 定期的な運動：週2～3回以上、運動時間1回20分～30分以上の運動を指す。

【アンケート結果＜指導者への効果＞】

Q.今回の取組を通じて、子どもの運動意欲が高まったと思うか(指導者アンケート(22名))



72.7%が子どもの運動意欲が「とても高まった」と回答。

【各施設での取組の様子(抜粋)】

＜運動遊びの取組＞

バランスバイク(なばた幼稚園他)



マット・鉄棒等(小平尾保育園)



体幹トレーニング(俵口幼稚園)



ボール遊び(天理市立北保育所)




＜保護者への取組＞

親子教室(常盤幼稚園他)



情報共有シート(生駒市立系他)



④ボール運動

＜投げる・蹴る・キャッチする＞

ボールを使ったスポーツはたくさん種類があります。道具が加わるとさらに種類が増えます。基本的な「なげる・つける」動きと、足でボールを操作する動きを通して、空間認識・バランス・体の動きを調整する力を養います。

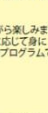
アクティブチャイルドプログラム(※)で遊びながら楽しみます。
(※日本スポーツ協会が、子どもが発達段階に応じて身につけておくことが望ましい動きを習得する運動プログラムです)

＜手で打ち返そう＞


飛んできたボールをつかむのは難しいけれど、手で打ち返すのは意外とできます。新聞紙を丸めたものや、細長いタオルの真ん中をくくって丸くボール状にして、打ち返してみよう。

ボールを打ち返す動きは、近づいてくる物の距離感を認識し、ボールが定つくタイミングに合わせて脚を動かします。はじめはタイミングがずれますが、何回もすることで、慣れてきます。バレーボール・野球・テニス・バドミントン・卓球など、多くのスポーツで使う要素です。

タイムリッ
げ
あわなかったー



あいつ



子どもと一緒にやってみよう！

①しんぶんしをてのひらより少し大きく丸めます

↓

②・お部屋の壁にむかって速くならなげる (5回)
・少し離れたカゴに向かってなげる (5回)

↓

③向かい合って、とんできた「しんぶんしボール」を
・打ち返す (5回) ・つける (5回)

↓

④向かい合って、「せーの」でお互いのボールを投げ
て交換する

がんばった感想

できたらシールを貼ろう

5. 事業の成果と今後の課題

【事業の成果】

<共通項目及び独自評価項目に関する評価について>

- ・事業実施前に設定した成果指標の結果について分析する。
 - 共通項目：
 - ・ア～オまでの設定があるが、全て「保護者の行動変容」に関する視点となる。
 - ・アンケート調査の結果、ウを除いて、目標値に到達できなかった。
 - ・評価指標以外にも、教育・保育施設での取組におけるアンケート調査を整理すると、あまり取組前後での大幅な改善等は見られない。
 - ・しかしながら、取組に参加した保護者からは好意的な意見も散見されることから、取組の方向性自体は間違いとはいえないと推察されるため、短期的な取組ではなく、長期的・継続的な取組が必要と考える。
 - 独自項目：
 - ・ア～エまでの設定があるが、全て「幼児の行動変容」に関する視点となる。
 - ・ウのみ評価設定がうまく機能せず成果の確認ができなかったが、その他については全て目標値を上回っており、取組の有用性が確認できた。

<取組全体を振り返って>

- 指導者や保護者に取組の訴求をする場合、「実技」を取り入れることで、より身近に、より実感として伝えることができる。
 - ⇒ 言葉よりも「実際に身体を動かす」ことの重要性。
- 子どもが楽しめば、保護者も好意的に運動遊びを捉えてくれて、保護者が家庭で取り組むきっかけになることが実感できた。
 - ⇒ 「子ども巻き込み型」の有用性。
- 子どもにとっては、できたことで周りから褒められるという自尊心の高まりが、運動遊びそのものをつづける動機付けとなる可能性が示された。
 - ⇒ 子どもの「○○できた」・「○○に褒められた」という感想の多さと、今後も運動を続けたというアンケート結果との関係性。
- 保護者の行動変容に関して、アンケート結果からは保護者自身の意識を変えるにはやはり時間が必要であることが示されたが、参加者の感想等を通じて、子どもをきっかけとした取組が行動変容に繋がられる可能性があることが分かった。
 - ⇒ 今後、継続的な取組による検証が必要。

【今後の課題】

- 事務手続きの関係上、各教育・保育施設で取組に協力いただくための準備期間、実施期間が短くなったことから、当初想定よりも協力施設数の確保がかなり厳しかった点が課題。
- 加えて、事業に取り組む中で感じたが、教育・保育施設は、年間行事や通常業務に忙殺されることが多いことから、県事業に参画したくても、改めてのスケジュール調整、不慣れな事務手続、外部講師との調整等が必要なことに二の足を踏む施設が多かった点も課題。

- 各施設が年間スケジュール調整後の依頼となったことも要因の1つではあるが、次年度以降の調整方法については検討が必要。

6. 今後の取組予定

- 教育・保育施設における運動遊びの取組の有用性は確認出来たため、今後は展開のしやすさを重視して、地域内の総合型地域スポーツクラブを核として、教育・保育施設と協働で取り組みに当たってもらう想定をしている。（今年度もモデル的に総合型地域スポーツクラブをとりまとめ役として複数教育・保育施設での取組を実施。事業の統一感を持ったスムーズな事業展開ができた。）
- よって、次年度は、地域内の普段から外部調整等に慣れている「総合型地域スポーツクラブ」が調整等を担うことで現場が対応しやすい事業展開に繋げるとともに、各施設と総合型地域スポーツクラブ間の連携強化に繋げていきたい。
- また、総合型地域スポーツクラブと教育・保育施設の協働による事業自立型の展開に繋げていければと考えている。

参考資料等

- ・アンケート結果一式
 - 01-1 指導者向け講習会アンケート調査票
 - 01-2 指導者向け講習会アンケート結果
 - 02-1 保護者向け取組前アンケート調査票
 - 02-2 保護者向け取組前アンケート結果
 - 03-1 保護者向け取組後アンケート調査票
 - 03-2 保護者向け取組後アンケート結果
 - 04-1 子ども向け取組後アンケート調査票
 - 04-2 子ども向け取組後アンケート結果
 - 05-1 指導者向け取組後アンケート調査票
 - 05-2 指導者向け取組後アンケート結果